



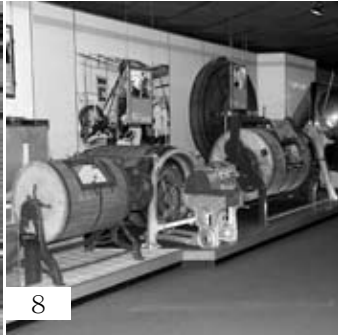
5



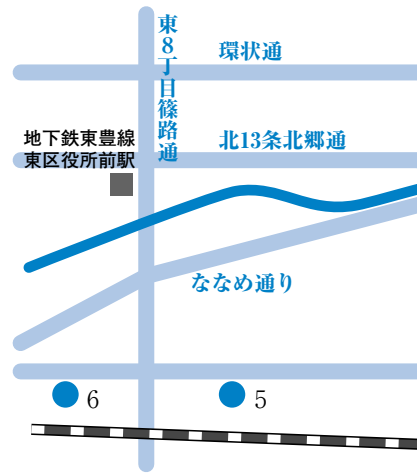
6



7



8



5 サッポロビール博物館 (北7東9)

7 北海道鉄道技術館(北5東13)

6 旧北海湯(北7東3)

8 雪印乳業史料館(苗穂町6)

ここから東へ向かうと「北海道鉄道技術館」。百年近く鉄道車両の製作・整備をしてきたJR苗穂工場の敷地内にあり、明治時代末期のレンガ造りの建物の中には、鉄道に関する数多くの資料が展示されています。

さらに東へ行くと、雪の結晶をイメージした六角形の建物があります。「雪印乳業史料館」。大正時代の創業当時の木製バター製造機など、貴重な機器を見学したり、乳製品の製造工程を学んだりすることができます。

ほかにも、約一世紀にわたり銭湯として親しまれた赤レンガの「旧北海湯」や石造り倉庫など、明治・大正の風情を感じさせるものも。まちを散策すると、新たな出会いがあるかもしれませんね。

次世代に遺^つぎたい北海道の宝物「北海道遺産」。JR苗穂駅近隣の工場・記念館群が北海道遺産に選定されています。この地域は、豊平川の豊かな水や鉄道輸送の利便性などによって、明治時代から「産業のまち」として栄えてきました。今もレンガや石造りの建物が点在し、当時の雰囲気を残しています。

赤レンガが印象的な「サッポロビール博物館」。ビールの原料を作る製麦工場として使われていた建物です。日本唯一のビールの博物館で、その歴史や文化を知ることができます。

産業のまち

サッポロビール博物館	北海道鉄道技術館	雪印乳業史料館	札幌村郷土記念館
所在地 北7条東9丁目	所在地 北5条東13丁目	所在地 苗穂町6丁目	所在地 北13条東16丁目
開館時間 午前9時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)	開館時間 第2・第4土曜日の 午後1時30分～4時	開館時間 午前9時～11時、 午後1時～3時30分	開館時間 午前10時～午後4時
休館日 年末年始	交通機関 JR「苗穂駅」徒歩20分 中央バス東3・東63「苗穂 工場前」下車徒歩5分	休館日 土、日、祝日(7・8月は無休)	休館日 月曜、祝日の翌日、年末年始
交通機関 地下鉄東豊線「東区役所前 駅」4番出口徒歩10分 中央バス東61・東67・東68 「サッポロビール博物館」下車すぐ ※サッポロビール博物館行き系統	電話番号 721-6624 ※都合により、臨時休館する場合があります。	交通機関 中央バス東3・東63「北6東19」 下車徒歩10分、環3「北6東 17」下車徒歩5分	交通機関 地下鉄東豊線「環状通東駅」 4番出口徒歩3分
電話番号 731-4368		電話番号 704-2329 ※前日までの予約が必要です。	電話番号 782-2294

